

# 江戸城 かわら版

—こんてんつ—

寛永度天守の復元に向けて(三浦教授)...	1
年頭のご挨拶(小竹理事長)...	2
特別アンケート結果分析...	2-3
第5回総会のお知らせ...	3
認定NPO取得に向けて...	3
東京から景観を考える...	4
寄付者一覧・新しい仲間...	4
会員のひろば...	4

## NPO 法人 江戸城再建を目指す会

平成22年1月11日 第19号

# 江戸城は、天下一の巨城・・・ 日本の宝です！

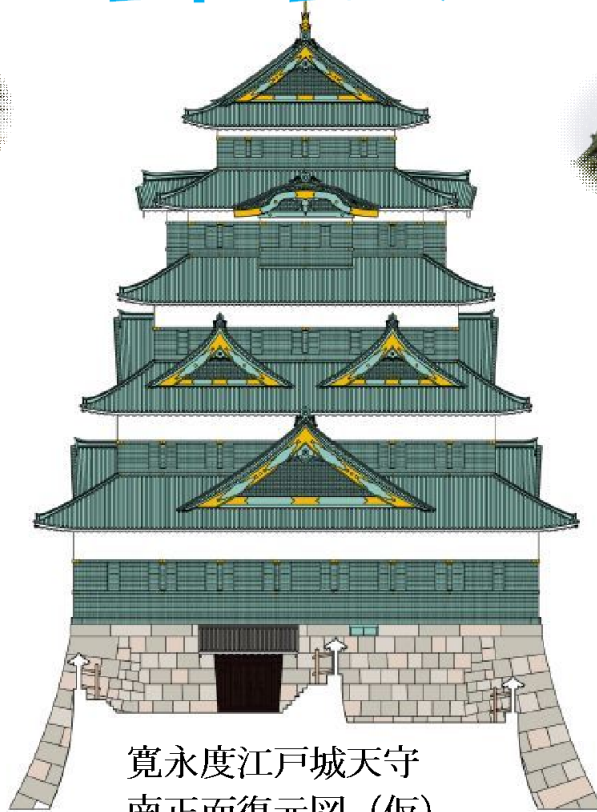
江戸城で逢いましょう！



松江城



高知城



寛永度江戸城天守  
南正面復元図 (仮)

広島大学大学院 文化財学 三浦正幸 研究室  
(復元 金澤雄紀 / 着色 山田岳晴)



姫路城



松本城



彦根城



あけましておめでとうございます

### (解説)

ここに掲げた5つの写真は、現存する国宝・重要文化財の天守12基の中から代表的なものを選んだ。

(大阪城、名古屋城、熊本城の天守は、何れも鉄筋コンクリート製で、往時の姿を忠実に復元したものではない。)

これらすべての城と比べて、規模の壮大さ、外観の端正さと銅づくめの豪華さ、いずれをとっても江戸城の天守に並ぶものはない。



## 寛永度天守の「復元」に向けて

(特別寄稿)

広島大学大学院 教授 三浦 正幸

江戸城三代目の天守である寛永度天守は、寛永15年(1638)に三代将軍徳川家光が建て直したものである。江戸市中をすべて焼き払った、明暦3年(1657)の江戸大火(振袖火事)で類焼してしまったが、都立中央図書館に納められている建地割図(たてじわりず、立面図・断面図の一種)などの資料を綿密に検討すれば、正確に復元することができる。

屋根の数は五重、内部は地上五階、地下一階で、天守台の石垣上に聳えていた。その一階は392坪もあって史上最大の天守であり、現存最大を誇る姫路城大天守の167坪の2.3倍にも及んだ。天守本体の高さは約45mでこれも史上最高であり、天守台を含めると、58.6mに達し、それは19階建てのビルに相当する。外壁は銅板張り、屋根は銅瓦を載せており、その豪華さは信長の安土城や秀吉の大坂城をも上回った。しかるに、鉄砲狭間や石落としなどの攻撃装置は一切見せておらず、武力ではなく、徳をもって太平の世を治めようとする平和主義の象徴でもあった。

この天下一の超巨大天守を往時と同じ木造で再現できれば、崇高で広範な日本文化の本質と伝統木造技術の精華を日本はもとより広く世界の人々に知って頂けるものと確信する。